

WTW-ER823YFH2

取扱説明書

株式会社 塚本無線

三重県鈴鹿市磯山1丁目16-21

TEL:059-387-8000 FAX:059-387-6999

安全上のご注意

- 警告**
- 煙が出ている、変な臭いがあるときは、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - コード類・ケーブル類が傷んだり、水に濡れた場合は、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 内部に異物が入っていないでください。金風扇や、可燃物が内部に入っている場合は、すぐに電源を切ってください。コンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 分解・改造をした形跡がある場合、保証期間内であっても保証対象外となる場合があります。
 - 内部に異物が入っていないでください。金風扇や、可燃物が内部に入っている場合は、すぐに電源を切ってください。コンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 修理・改造・分解しないでください。火災・感電の原因となりますので、点検・修理は買い上げの販売店にご依頼ください。本製品が動作しない場合は、メーカーに相談してください。
 - 分解・改造・分解しないでください。火災・感電の原因となりますので、点検・修理は買い上げの販売店にご依頼ください。本製品が動作しない場合は、メーカーに相談してください。
 - 修理・改造・分解しないでください。火災・感電の原因となりますので、点検・修理は買い上げの販売店にご依頼ください。本製品が動作しない場合は、メーカーに相談してください。

設置するとき

- 風通しや一室など、温度の高い場所には設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 上物を置かないでください。金風扇や、花瓶や、コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。重いものを乗せると故障の原因となります。
- 本機は、振動の無い安定した場所に設置して下さい。振動を与えると、故障の原因となります。
- 加湿器やストーブなどのそばに設置しないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 本製品を作動させながら移動・持ち運びをしないでください。故障・火災・感電の原因となります。

注意

- 温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となる場合があります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となる場合があります。
- 加湿器・油煙・ほこりなどの多い場所に置かないでください。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となる場合があります。
- 移動させる場合は、本機の接続を全て外してください。接続したまま移動させると、火災・感電・故障の原因となる場合があります。

Aコネクタについて

- Aコネクタの電源コネクタは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- Aコネクタの電源コネクタは、分解・修理しないでください。火災・感電の原因となります。
- Aコネクタの電源コネクタは、無理に曲げたり、ねじりたり、重いものを乗せたり、換気扇を取り付けたりしないでください。
- Aコネクタの電源コネクタの取付面にゴミやほこりが付着している場合は、電源コネクタを抜き、ゴミやほこりを取り除いてください。火災・感電の原因となります。
- 通電中のAコネクタの近くにふんやけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でAコネクタの電源コネクタを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
- Aコネクタの電源コネクタは、コードを引っ張るときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電の原因となります。
- Aコネクタの電源コネクタは、指定以外のAコネクタ・ケーブルを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は必ずAコネクタの電源コネクタをコンセントから抜いてください。万一故障した場合、火災・感電の原因となります。

バッテリー(別売)について

- Aコネクタは本機以外の用途に使用しないでください。
- Aコネクタの電源はコンセントの奥まで確実に差し込まないと、火災・感電の原因となります。
- 指定されたバッテリーパックを使用してください。指定以外のものを使用すると、破損・発火の原因となります。
- バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火中へ投入しないでください。破損・発火の原因となります。
- バッテリーパックの近くに、金属や水気のあるものを置かないでください。電極(＋端子と－端子)に接触すると、ショート・破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、火災・感電の原因となります。

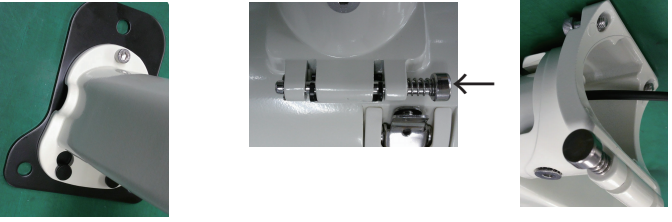
免責事項について

- バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。破裂・発火の原因となります。
- 地震や雷などの自然災害および当社・販売店の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件での使用による生じた損害に一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- ※取扱説明書の記載内容を守らないことによる生じた損害に一切責任を負いません。当社・販売店は一切責任を負いません。
- ※取扱説明書の記載内容を守らないことによる生じた損害に一切責任を負いません。当社・販売店は一切責任を負いません。

本製品とは、当てはまらない項目もございます。

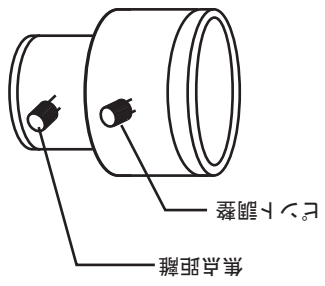
組み立て

- カメラ本体から出ている配線を写真1のように基台の中に通してください。
- カメラ本体と基台を取り付けてください。
- 写真2の部分を矢印の方向に押しつつ、写真1に掛けてください。
- 反対側を付属の六角レンチで締め付けてください。
- 基台ベース(黒)を壁などに取り付け基台を引く掛けした部分を付属の六角レンチで締め付けてください。(写真3)



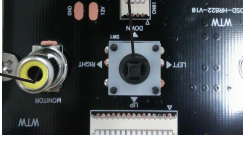
レンズ調整

カメラのカバーを外すと、図のレンズが見えます。レンズに付いているトリマーを緩めてから調整を行ってください。

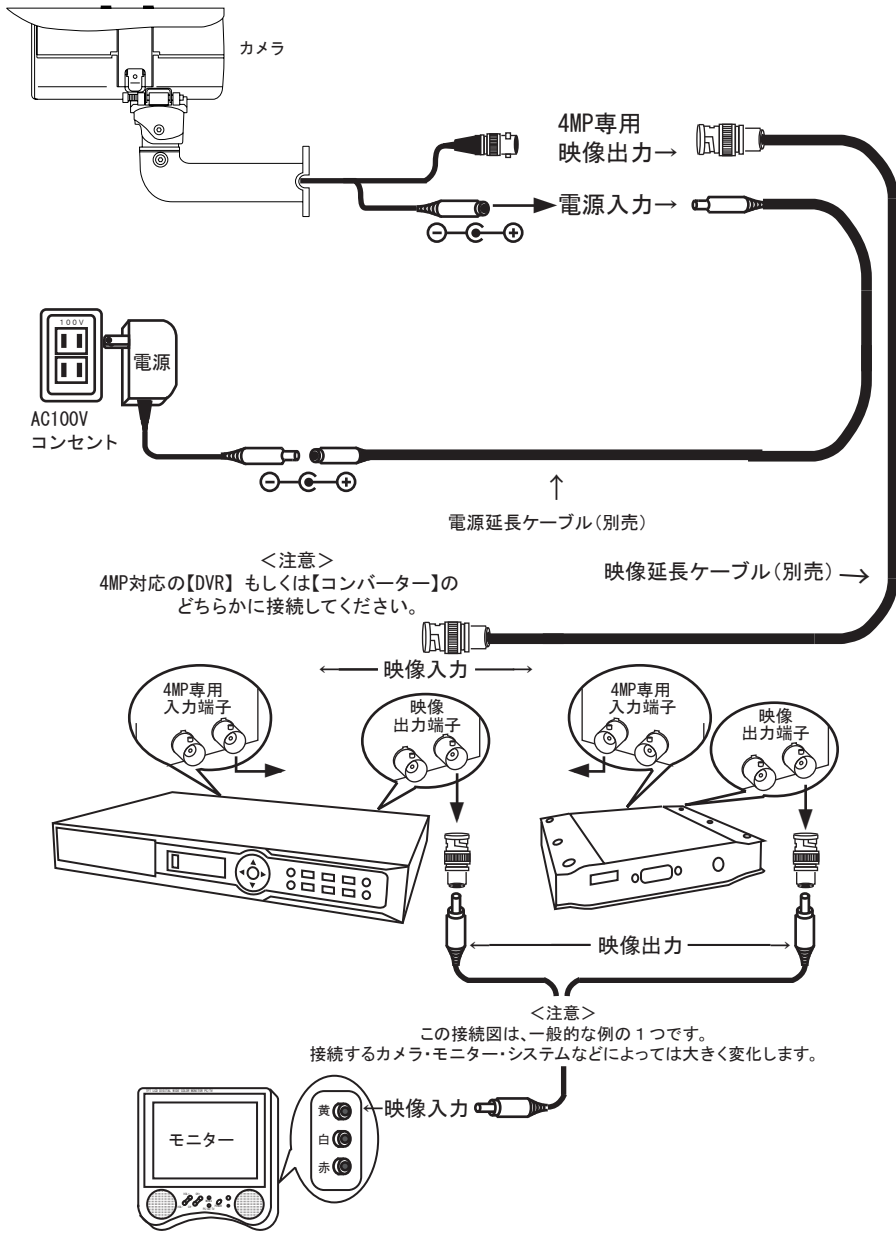


- トリマーは緩めすぎると、外れるにご注意下さい。
- 締めすぎてもレンズが濡れますので、レンズが動かない程度で、とめて下さい。
- 調整後必ずカバーをしかりと締めつけて下さい。
- 角度を一番広角にした場合、夜間の映像に白枠が見えることがありますが見えなくするには少し角度を狭めて調整してください。

ボタン



SETボタン(ボタンの中心を押し込む)を押すと、メニューが表示されます。メニュー表示中の各ボタンの動作です。



安全上のご注意 _____

目次 _____ P2

LED動作 _____ P2

メニュー設定 _____ P3

接続図 _____ P5

バリフォーカルの調整 _____ P6

ボタン _____ P6

赤外線 LED の中に CDS センサー（明暗センサー）があります
そのセンサーが暗いと検知すると LED が点灯します

ヒーターON	15℃以下	ヒーターOFF	25℃以上
ファンON	40℃以上	ファンOFF	30℃以下

